

第5次和泉市総合計画(案)パブリックコメントに対する事務局対応方針(案)

募集期間：平成28年3月4日(金)～4月4日(月)

受理件数：5件

No	項目	ご意見・ご提案	事務局対応方針(案)
1	P28～29 都市イメージについて	<p>○テクノステージ周辺の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と共生するテクノステージ内公園およびウォーキング路等の有効活用 ・企業のテニスコートの開放を求める。 ・周辺にプール施設を造る。府中にあったプールくらいのスケールでスポーツ一環で市民の健康づくり施策をまた大型商業施設とともに土日祝日の賑わいを拡大する。 <p>○府中と中央を結ぶR480沿いの田園エリアの再構築 <府中と中央の人の交流を深めるために自然と共生した村町づくりを></p> <p>私は1987年に●●町に居を構えました、当時は桑原町の農地には電照菊のハウスに明かりが付ききれいな光景でした。今は桑原町の一部で花卉栽培がおこなわれているようですがもっと芦部町を含めこの地区が産廃置き場になる前に農地の整備を行い農産物の復興を望んでいます。市の花である水仙は何処に行ったのでしょうか</p> <p>リサイクル公園だのみでなく、どこにも花がある村町に！</p> <p>○槇尾川緑道の府中への延長？(途中でプツンきれている)</p>	<p>○【第2節】めざす「都市イメージ」では、まちづくりの目標の達成に向けて取り組んだ10年後の本市のイメージを示しておりまして、具体的な取組は、重点施策に記載することとなります。</p> <p>○温水プール(サン燦プール)や民間施設が充実してきたことから、プール施設の建設の予定はありませんが、市民の健康増進については、総合スポーツセンター(横山地区)の整備等、重点施策12「スポーツを通じた心身の健康増進」にて取り組んでまいります。</p> <p>○桑原町の付近は、和泉農業振興地域整備計画において、市街地にある農用地区域(桑原地区)として位置づけており、環境保全、防災面でも貴重な一団の緑地として良好な田園景観を形成しています。</p> <p>また、府内有数の花きの生産地であり、今後も花き栽培の経営確立に向けた支援を行います。</p> <p>○槇尾川緑道については、トリヴェール区域内での水辺空間として整備されたもので、和泉府中への延長は予定されて</p>

No	項目	ご意見・ご提案	事務局対応方針（案）
		<p>○信太に大阪市立野外活動センターがあるのに和泉市にないのはこれ如何に和泉の子供等にも利用できるようにしてあげて下さい。稼働率は知りませんが和泉市民も散策できるようになりませんか？</p> <p>まちづくり「No.5 総合計画」内容の意見に沿わず、一市民の戯言です。今回の市役所移転問題も府中と中央そして横山等南部エリアの人々がばらばらであることが明白になりました。</p> <p>横山のみかんが和泉の財産であることを市民全員が思うような血のかよった施策を！市民病院移転もしかり！</p>	<p>おりません。</p> <p>○信太山青少年野外活動センターについては、大阪市の保有施設であるものの、大阪市以外の市民も施設の利用は可能となっております。</p> <p>○様々なご意見を頂いておりますが、本計画案へのご意見ではなく、市行政に対するご意見として賜ります。</p>
2	<p>P 6 1 重点施策15 住み続けたくなる 快適な都市環境の 整備 10行目に挿入</p>	<p>P 6 1 10行目に挿入 重点施策15 住み続けたくなる快適な都市環境の整備 (具体的な取り組み) ◆道路交通網の整備・充実 ○ 略 ○横山地区の旧170号の交通量を緩和し、歩行者の安全と快適な生活環境を確保するため、上川バイパスの整備を促進します。 ※提案の理由 長年の地元要望であり、上川橋の架け替え、東槇尾側の河川改修が終了し、「もうできる」と地元は期待していたが、大阪府、和泉市とも計画があることを失念していた。</p>	<p>○上川バイパスの整備は、大阪府が事業主体であることから、国道170号（大阪外環状線）の4車線化と併せて、大阪府へ要望してまいります。</p>

No	項目	ご意見・ご提案	事務局対応方針（案）
		<p>よって、失念されないため、及び府の意向があること、さらに町会総会において市の総合計画に位置づけるべきとの強い意見・要望があったことによる。</p> <p>※H28年2月15日、和泉市同席のもと、大阪府鳳土木事務所に要望したところ、和泉市の計画に位置づけられれば、実現性が高くなるとの意向がある。</p>	
3	P72 産業として成立する農林業の確立	<p>道の駅 いずみ山愛の里は、地元の野菜や加工品など展示販売しているが、種類が少なく同じものが陳列され目新しいものがない。近隣の直売所に比べて、活気があるとは言えない。もっと多種多様な野菜や新しい加工品（限定もの）などの展示販売をするなど、道の駅を通じて南部地域の活性化を図っていく必要があるのではないか。</p>	<p>○ご指摘のとおり、道の駅を通じての地域の活性化も必要であると考えますので、「重点施策21 産業として成立する農林業の確立」の具体的な取組みにおいて、次のとおり一部修正します。</p> <p>◆地産地消・都市農村交流の推進</p> <p>○都市近郊に立地する本市農業の特性を生かし、生産者と消費者を直接結びつける地産地消の取組みを推進し、安全で安心な農産物を市民に届けるとともに、農業体験交流施設（いずみふれあい農の里）や道の駅を併設する南部リージョンセンターにおいて、市内産農産物のPR等を積極的に行います。</p>

No	項目	ご意見・ご提案	事務局対応方針（案）
4	P74、76 第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興	<p>そもそも和泉市はある程度の観光資源はあるものの、その知名度は低くそれだけで観光振興が図れるとは考えにくい。</p> <p>「外国人観光客の受け入れ体制の強化」とあるが、外国人観光客を呼び込むのも現状では難しいと考えられる。</p> <p>これからの観光振興を真剣に考えるのであれば、関西国際空港に近いというポテンシャルを生かしながら、「泉州」全体をとらえた広域的な観光推進が不可欠であると考えます。</p>	<p>○交流人口の拡大に向けて観光振興を積極的に展開していくためには、関西国際空港を中心とし、近隣市町との広域的な連携も必要であると考えます。</p> <p>ご指摘を踏まえ、P76「重点施策23 地域資源を活用した観光産業の振興」の施策の方針及び具体的な取組みを次のとおり変更します。</p> <p>(施策の方針)</p>
5	P76 第2章 賑わいの創出地域資源を活用した観光産業の振興	<p>施策の方針の二つ目の項目に</p> <p>「◎インバウンドへの対応等、外国人観光客の受入れ体制の強化を図ります。」とあるが、インバウンドへ対応するためには、関西国際空港利用の外国人観光客が対象となると思われる。現状、関西国際空港を利用する外国人観光者は、関空到着後、泉州を素通りし、大阪市内や観光地である京都・奈良へ向かっている。</p> <p>和泉市で外国人観光客の受け入れを行うためには、和泉市だけでなく、関西国際空港を中心に、泉州9市4町の連携など広域的な取組を行う中で、本市の観光資源を活用する必要があるのではないか（そうならざるを得ないのではないか）と考える。</p> <p>現状の計画では、泉州9市4町の連携など、広域的な連携による観光振興について記載されていないことから、広域的な連携による観光振興について記載していただければと考える。</p>	<p>◎<u>地場産業や歴史遺産など地域資源を活用し、本市の特性を生かした「和泉の観光スタイル」の確立を図るとともに、周辺地域との連携も併せて推進し、交流人口の拡大をめざします。</u></p> <p>◎インバウンドへの対応等、外国人観光客の受入れ体制の強化を図ります。</p> <p>(具体的な取組み)</p> <p>中略</p> <p>◆外国人観光客の受入れ体制の強化</p> <p>○近年増加している外国人観光客の誘致を図るため、<u>近隣市町との連携を行うなど広域的な取組みを推進します。</u></p> <p>○市内観光施設において、多言語に対応した映像やパンフレットの作成、表示板の設置を推進するほか、無料公衆無線LANの整備など、施設の充実を図ります。</p>